

2026年3月9日

株式会社ディーエイチシー

DHC、新素材の高透明ポリプロピレンを化粧品容器に国内初採用^{※1} ～ガラスのような高い透明性と実用性を実現しました～

株式会社ディーエイチシー(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮崎 緑、以下:DHC)は、今夏発売予定の一般流通向け新スキンケア製品一種において、日本ポリプロ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:飯島 要、以下:日本ポリプロ社)が新たに開発した高透明ポリプロピレン(PP)製容器を、国内で初めて採用します。

※1:日本ポリプロ社調べ(2026年3月時点)。同社開発の高透明ポリプロピレンを、化粧品の店頭販売用容器用途として採用するのは国内初。

本素材は、日本ポリプロ社が開発した高透明PP樹脂です。透明部材の曇り度合を示すヘイズ値は従来のPPと比べて大幅に低減されており、ガラスのように澄み切った高い透明性を実現しています。この高い透明性により、内容物をクリアに視認できることから、化粧品そのものの美しさや商品の世界観を視覚的に表現することが可能となります。

また、PP素材ならではの軽量性と耐久性を備えており、容器としての必要な強度を確保しながら、内容物を安定的に保護し、品質を保持します。さらに、ポリエチレンテレフタレート(PET)などの透明樹脂と比較して軽量であることから、輸送効率の向上やCO₂排出量削減にも配慮しています。DHCはこれらの特性にいち早く着目し、中身の美しさを直感的に伝えるとともに、品質を安定的に保持できる化粧品容器として、本素材を採用することとしました。



■ 本素材の特長

① 日本ポリプロ社の独自技術による高い成形性と透明性の両立

独自メタロセン触媒技術^{※2}により、従来のPPと比べて複雑形状に対する成形性が向上しています。また、格段に高い透明性を実現し、化粧品容器に求められる意匠性や内容物の視認性にも十分対応できる材料特性を有しています。

※2:プラスチックの分子構造を細かくコントロールできる技術。
透明度が高く、品質の安定した樹脂の製造を可能にします。



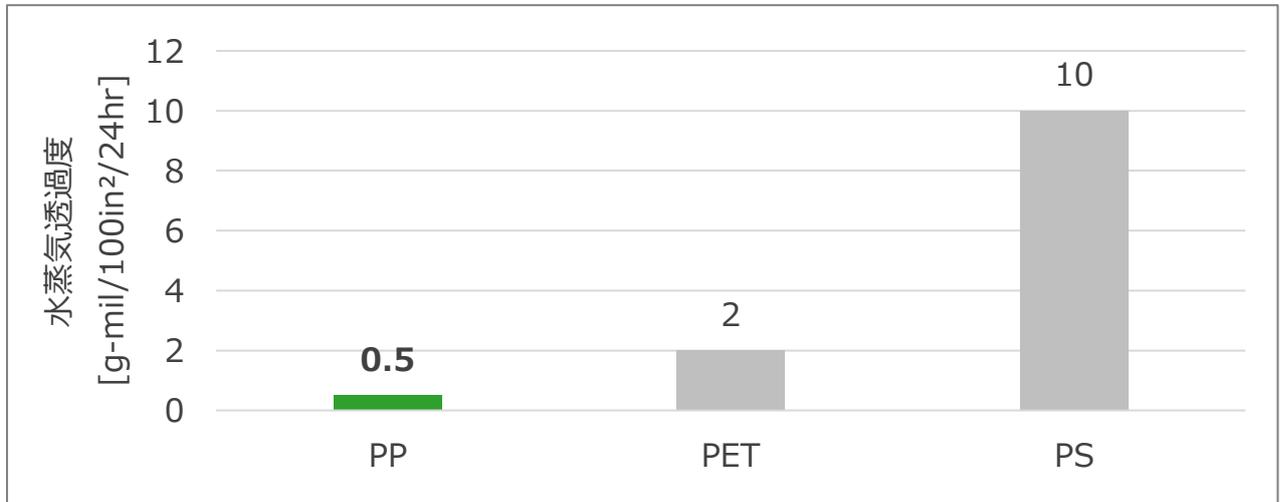
左：新容器 右：従来品

■ DHC オンラインショップお問い合わせページ ■

<https://www.dhc.co.jp/guide/link.jsp>

②内容物の蒸発を防ぐ水蒸気バリア性

PP 素材が有する低い水蒸気透過度により、内容物の蒸発を防ぎます。水蒸気透過度は PET 比で約 1/4、ポリスチレン(PS)比で約 1/20 と高いバリア性能を発揮します。



出典：Pretium Packaging(Plastics Comparison Chart)

③内容物との接触に対応した耐薬品性

化粧品成分との接触を考慮した素材選定および容器設計を行い、内容物への影響に配慮しています。品質保持を目的とした構造設計のもと、安定性の確保に努めています。

PP 素材そのものが持つ優れた耐薬品性により、高い安全性と品質安定性を実現しています。

こうした設計により、製品の品質維持に配慮した容器づくりを進めています。

DHC は、ビューティとヘルスケア領域での取り組みを通じてウェルビーイング経営を目指し、お客様の健康と幸福に貢献することを使命とし、これからも安全で安心、品質にこだわった商品とサービスを提供してまいります。

DHC オンラインショップはこちらから：<https://www.dhc.co.jp>